

治療を受けられるお子さまのご家族の方へ

1 歯医者という言葉や脅しを使わない

日常生活の中でお子さまが悪いことをしたり、わがママを言った場合に『歯医者さんに連れて行くよ。注射してもらおうよ』と叱らないでください。お子さまは『歯医者さんは怖くて痛いことをさせる場所』と認識し、実際は痛くて怖い思いをしたことがなくても歯医者嫌いになってしまいます。



2 うそをつかないように

「痛くないから」「今日は見るだけだよ」などは言わないでください。実際に見るだけではないかもしれませんし、治療は痛みを伴うこともございます。大人にとって何でもないことがお子さまにとっては嫌なことかもしれません。そうなるとお子さまは「だまされた」と思い、歯医者をはじめ診療スタッフや保護者様が信用できなくなり「歯医者嫌い」になってしまいます。

3 保護者様もリラックスしましょう

「うちの子、上手にできるかな」「泣いちゃうから心配」など、保護者さまが緊張してしまうとお子さまにも伝わってしまいます。お子さまの緊張を和らげるためには、まず保護者さまがリラックスすることが大切です。不安なこと、心配なことがございましたら、おっしゃってくださいね。



4 できたことは思いっきり褒める

歯医者独特の雰囲気や音に驚いて、不意にお子さまは泣いてしまったりするものです。でも、毎回泣いて治療ができない場合はお家でしっかりとお子さまになぜ治療をしなければならないかなど、伝えるようにしてください。泣けばやらなくて良いと思ってしまうといつもまでたっても治療ができません。ですが、お子さまができたことは思いっきり褒めてあげてください。それが、お子さまの自信や次の診療への意欲につながります。

5 歯医者さんゴッコをしてみよう

仕上げ磨きが重要なことは有名ですが、その際、歯医者さんゴッコをしてみてください。親子のコミュニケーションの場にもなりますし、歯医者さんに対しての緊張が少し和らぐと言われています。実際、お家で歯医者さんゴッコをされているお子さまは、歯医者に対して悪いイメージが少ない子が多く感じます。



Shibumi Yamamoto Dental Clinic

渋見やまもと歯科